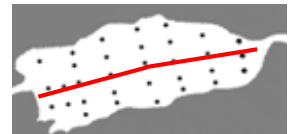


2026 年9月 宍道湖 塩分・溶存酸素

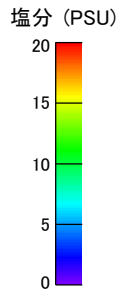
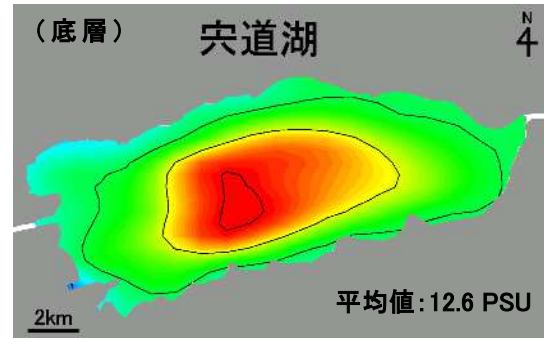
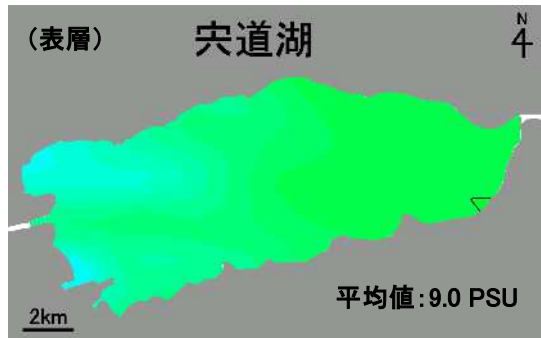
水域	調査日	天候	風向風速	水温 (表層平均)
宍道湖	2026 年9月1日	晴	南 1.0 m/秒→西南西 2.2 m/秒	30.8 °C

● 調査地点 — 鉛直ライン



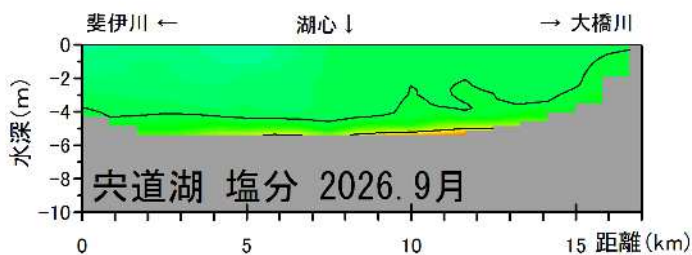
調査定点図

● 塩分 水平分布 (表層:左、底層:右)



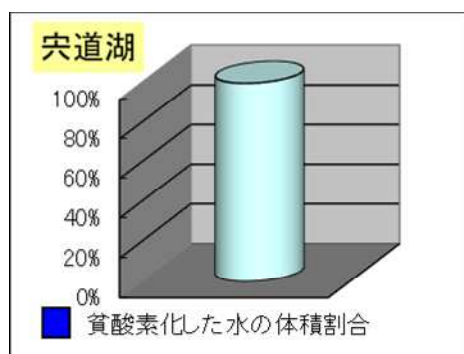
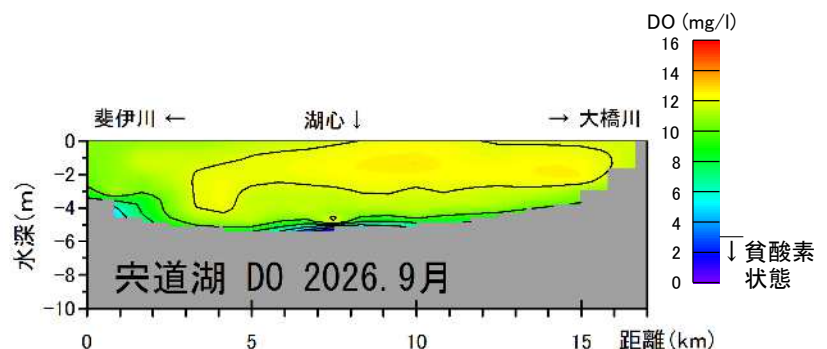
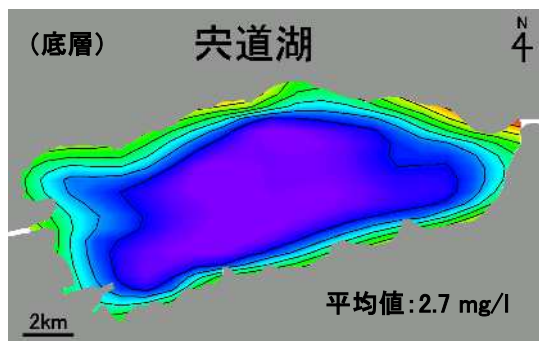
※塩分のスケールは 2020 年 6 月より変更となっています。過去と比較する際はご注意ください。

● 塩分 鉛直分布



塩分の平均は、表層、底層ともに先月から上昇し非常に高い状態。表層は西岸の 7PSU 程度から東岸に向けて徐々に上昇、東岸では 10PSU 程度になっていた。底層は湖心域を中心に非常に高い(17~19PSU)水域があった。ただし、その高塩分層は、非常に薄い。
(『R8 年度水質状況』を参照)。

● 溶存酸素 水平分布(底層:左)と鉛直分布(右)



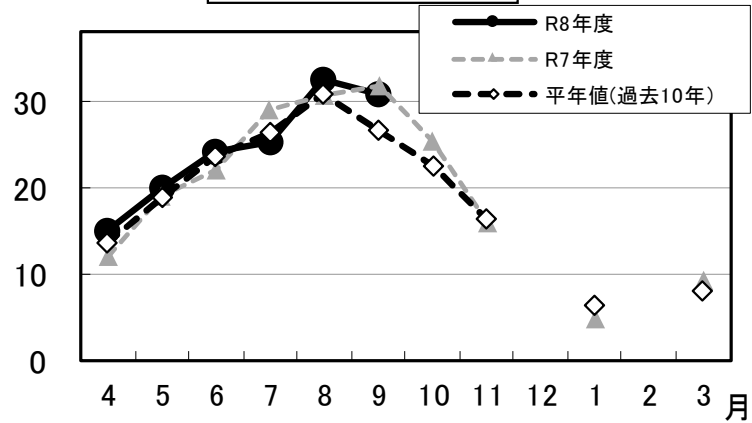
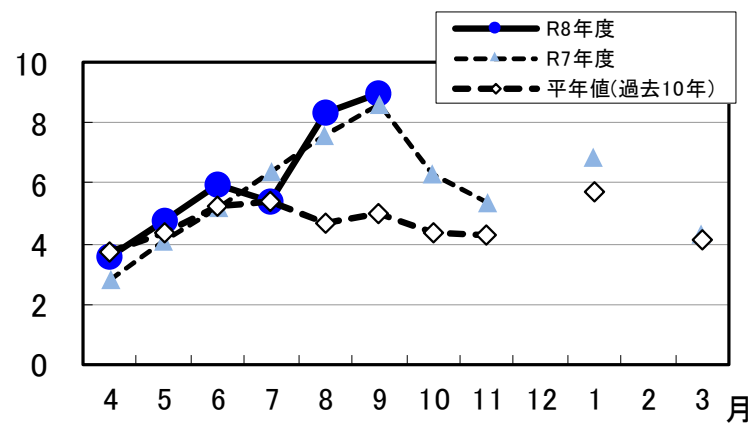
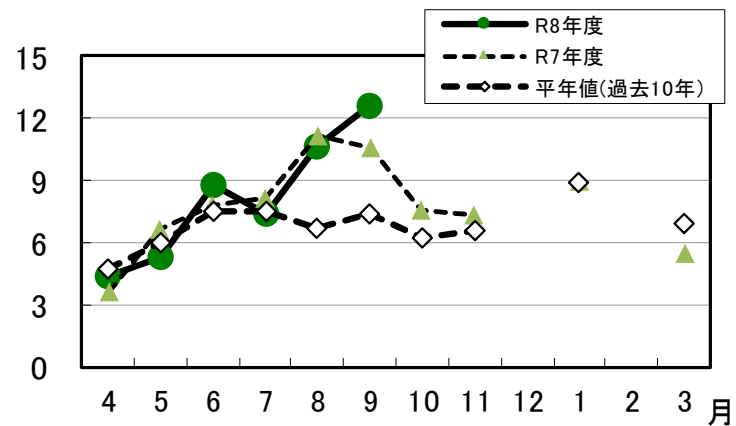
底層は広い範囲で貧酸素化しているものの、溶存酸素濃度 3.0mg/l を下回る貧酸素水塊の体積割合は 0.1%と低い。これは、貧酸素水塊の厚さが非常に薄いためと考えられる。

底層溶存酸素の平均値は 2.7mg/l、先月から低下した。

(『R8 年度水質状況』を参照)。

● R8年度水質状況

宍道湖

水温
(表層平均)水温
(°C)塩分
(表層平均)塩分
(PSU)塩分
(底層平均)塩分
(PSU)貧酸素水
体積割合貧酸素水
割合(%)